

教育実習の保育活動課題レポートから

3歳児・4歳児について

大林博美

1. はじめに

小児保健の目的は「子どもの健全な成長や発達」である。教育実習は、このことを具体的に学ぶ機会となる。

今回、教育実習を捉えて、3歳児から5歳児の「保育活動」に関する課題を小児保健の授業の一環として学生に課した。本稿では、3歳児と4歳児についてまとめることとする。この課題を集約することによって、各学生の子どもの発達における保育活動の実状を把握し、また、子どもの発達と保育活動の関係性を検証し、小児保健の授業内容の充実を図り、生かしていければと考える。

2. 研究の目的と方法

研究目的は、各実習先の幼稚園の3歳児と4歳児における保育活動の実状を把握することで、実習生の実習内容を把握し、教育実習と「小児保健」の授業を関連を図ることである。

研究方法は、本学2年生42名を対象に、平成11年9月27日(月)～平成11年10月7日(金)の2週間の幼稚園実習で学生にレポートという方法で課題を提示した。課題内容は、3歳児と4歳児のうち関わった年齢の園児の「保育活動(室外・室内)」と自身の

かかわり方についてである。

3. 結果

(1) 3歳児について

1) 保育形態

3歳児を対象にした学生は、23名(23.7%)であった。自由保育は、13園、設定保育は10園である。しかし、自由保育と設定保育の活動内容は大差がなかった。

2) 保育活動内容

室外での活動(表1参照)

表1は、3歳児の室外の活動をまとめたものである。

室外の活動として多いのは、上位から1位が「砂場」18園(78.2%)、2位が「滑り台」16園(69.5%)、3位が「ブランコ」14園(60.8%)、4位が「ジャングルジム」12園(52%)、5位が「動物・虫」10園(45%)、6位が「三輪車」植物採取」9園(39.1%)、7位が「ごっこ遊び」8園(34.7%)、8位が「鉄棒」7園(30.4%)、9位が「ボール遊び」6園(26%)、10位が「登り棒」「雲梯」「水遊び」4園(21.7%)、11位が「かけっこ・リレー」「タイヤ」3園(13%)であった。

「かくれんぼ」「一輪車」「木登り」「フラフープ」は、(各1園0.4%)であった。

表1 3歳児の室外での活動

活動項目番号	施設数 23施設中	項目	活 動 内 容	人数 (人)	構成比
1	18 78.2%	砂場	電車の型を並べ電車ごっこをする。	1	0.7%
			川を作り，水を流す。	4	33.3%
			ケーキ・団子・プリンを作る。	13	72.2%
			動物の型抜きをする。	3	16%
			団子3兄弟・あり地獄・ざるや入れ物を作る。	1	0.5%
			スコップを使う。	6	33.3%
2	5 21.7%	雲梯	友達と一緒に登ったり降りたりする。	1	41.6%
			保育者にささえてもらい，プラプラとする。	1	41.6%
			上に乗せてもらい，雲梯の端から端までわたる。	1	41.6%
			1ことばし，2ことばしでぶら下がる。	1	41.6%
3	14 60.8%	ブランコ	順番を守りながら，みんなで仲良く遊ぶ。	6	42.8%
			保育者に押してもらおう。	3	21.4%
			自力でこいだり，たちこぎをする。	4	28.5%
			あめ玉ブランコ	1	0.7%
			保育者を仲介して変わってもらおう。	1	0.7%
			先生ごっことしてブランコを押してあげる。	1	0.7%
4	16 69.5%	滑り台	複数の遊びを導入する。	3	18%
			a)ブロックで作ったロボットを持ってきて ゴーゴーフアイブごっこをする。		
			b)「 <input type="checkbox"/> に出発」などいって運転ごっこをする。		
			立ったり，後ろを向いたりと違った型で滑る。	3	18%
			ルールを決めて遊ぶ。	2	1.2%
			a)保育者とじゃんけんし，勝ったら滑ることができる。		
			b)保育者とにらめっこして勝ったら滑ることができる。		
			滑る前に保育者に声をかけ，見てもらう。	1	0.6%
異年齢児との交流 大きな子のまねをして，頭から滑ったりする。 一人で滑る。	1	0.6%			
5	4 17.3%	リズム	保育者をみて一緒に踊る。	1	25%
			音楽にあわせて歌う。	1	25%
			異年齢からの影響 ボンボンやリボンを使って曲にあわせて運動会で年長さんの踊りを踊ってみる。	2	50%
6	1 0.4%	トランポリン	保育者についてテープにあわせて一緒に踊る。	1	100%

7	3 13%	かけっこ リレー	友達同士で走りまわり,自分たちでルールを決める.	1	33.3%
			追いかけてっこをする.	1	33.3%
			リレーの練習でバトンを持ち走る.	1	33.3%
8	10 45%	動物・虫	友達が持ってきた青虫について伝え合う.	1	10%
			幼稚園で飼育しているうさぎを見る.	5	50%
			家からもってきたニンジンあげる.	2	20%
			にわとりをみる.保育者と一緒にキャベツをあげる.	2	20%
			だんご虫やほかの幼虫をとってきて,得意げに見せる.	1	10%
			毛虫は,保育者にいることを知らせるだけ.	1	10%
			ハムスターや鳩をじっと見る.	1	10%
網をもって,バッタ,こおろぎ,とんぼ,ちょうちょなどを捕まえる.	2	20%			
9	9 37%	植物採集	幼稚園にあるどんぐりを集める.	3	33.3%
			草花を集める.	7	77.7%
			野草をとってにおいをかく.	7	77.7%
			虫を見つけたりとったりする.	6	66.6%
			はっぱ・石・実を拾う.	4	44.4%
			ねこじゃらしのような草をとる.	1	11.1%
			石を使って絵を描く.	1	11.1%
高い所から落ち葉を散らしているのを見る.自分もまねをする.	1	11.1%			
10	9 39.1%	三輪車	前や後ろでこぐ.	2	22%
			友達と追いかけてっこする.	1	11%
			一人でこいで乗る.	5	55.5%
11	5 21.7%	登り棒	上まではいかなくても途中まで登る.	1	20%
			棒につかまり,くるくるとまわる.	3	60%
			異年齢児とも交流 やりたいのに,大きな子がいるからやっているために入れなくて立っている.保育者が一緒に立って,上まであげてあげる.	1	20%
			素足になって上まで登る.	1	20%
12	6 26%	ボール遊び	保育者,友達とボールをけったり,転がしたりする.保育者とキャッチボールをする.	3	50%
			地面にたたきつけたり,壁にぶつけたりする.	1	16%
			蹴ってサッカーの真似をしてころがして追いかける.	2	33%
13	1 0.4%	アスレチック	いろいろな場所から登り滑り台を滑って降りる.	1	100%

14	12 52%	ジャアグルジム	異年齢の子との交流．一緒に上まで登る．	3	25%
			迷路のように一人で中を歩く．	5	41.6%
			上まで登って，友達の名前をいって手を振る．	1	0.8%
			複数の遊びと併用．ジャングルジムを家と見立てて，ごっこ遊びをする（お客さんが訪れるのを喜び，次々と仲間が増える．）	4	33%
15	3 13%	タイヤ	タイヤの乗ったり立ったりする．	1	33.3%
			小さなタイヤを飛び越える．	1	33.3%
			保育者の手を握ってタイヤからタイヤへと飛び乗る．	1	33.3%
			前からきた子とじゃんけんをする．	1	33.3%
16	8 34.7%	ごっこ遊び	ウルトラマン・電車・運動会・ゴゴファイブ・バーベキューごっこ	1	12.5%
			戦いごっこ	2	25%
17	7 30.4%	鉄棒	手だけでぶら下がったり，手足，両方でぶら下がったりする	3	42.8%
			鉄棒の上に保育者に支えてもらって座る	1	14.2%
			前回り，逆上がりする．	2	28.5%
			できなのですぐにあきらめてしまう子もいるが，保育者にみてもらう．	1	14.2%
18	1 0.4%	製作 紙ひこうき	下にタイヤが置いてあり，その上に乗り，一番低い鉄棒で遊ぶ．	1	14.2%
			一人で飛ばす．	1	100%
			友達同士で誰が一番よく飛ばすか勝負する．	1	100%
19	5 21.7%	水遊び	色が出る草花や実をとってきて色水を作る．	1	20%
			おしろい花の花を摘みビニールに入れて色水を作る．	1	20%
			小さいバケツに足を入れ，互いの体にかけてあったりする．	1	20%
			水を汲んでは，こぼす．	1	20%
			手のひらに水をつけ壁にべったとつけて手形を楽しむ．	1	20%
20	1 0.4%	一輪車	異年齢児の真似をして乗れないが足をかけたりにして遊ぶ．	1	100%
21	1	かくれんぼ	おにを二人にして，がんばってさがす．	1	100%
22	0.4% 1	フラフープ	ピョンピョン飛んだり，跳ねたり電車ごっこをしたりする．	1	100%
23	0.4% 1	自転車	コロつき自転車でグラウンドを自由に走る．	1	100%
			人気のある自転車は順番を待つ．	1	100%
24	0.4% 1 0.4%	木登り	木登りをする．枝をゆさゆさゆすぶって，「オバケダー」といって遊ぶ．	1	100%
			木の上の赤い実をとる．	1	100%

室内での活動(表2参照)

表2は、3歳児の室内の活動をまとめたものである。

上位から1位が「廃材利用・製作」15園(65.2%)、2位が「ブロック」13園(56.5%)、3位が「ごっこ遊び」12園(52.1%)、4位が「折り紙」11園(47.8%)、5位が「絵本」「粘

土遊び」10園(43.4%)、6位が「お絵書き」8園(34.7%)、7位が「大型積み木」7園(30.4%)、8位が「リズム・歌・リトミック」4園(17.3%)、9位が「ゲーム」「ハンカチ遊び」「塗り絵」「手遊び」3園(13%)であった。「パズル」「紙芝居」「年長児との交流」「ビデオ」が各1園(0.4%)であった。

表2 3歳児の室内での活動

活動項目番号	施設数 23施設中	項目	活動内容	人数 (人)	構成比
1	13 56.5%	ブロック	友達と貸し借りしながら作りあげる。車、鉄砲、ピアノ、家、飛行機、冷蔵庫、宝箱などを作る。	10	76.9%
			自分で考え作る。	3	23%
			ブロックが少なくてけんかになる。仲裁に入る。	1	7.7%
2	12 52.2%	ごっこ遊び	人形ごっこ アンパンマンや動物のぬいぐるみを使ってごっこ遊びや肩にのせて遊ぶ。背中に背負う。「赤ちゃん」に見立てる。等	3	25%
			家族ごっこ	2	16.7%
			お医者さんごっこ(患者さん・お医者さん・看護婦さん役)	1	8.3%
			ままごと 日常生活を取入れて遊ぶ(料理・睡眠など)	7	58.3%
			おかあさんごっこ	5	41.7%
			バスごっこ(お客さん・バスの運転手役)	3	25%
3	10 43.4%	粘土遊び	ケーキ・怪獣・へび団子をつくる。	10	100%
			いろいろ作りながら、友達とお店屋さんごっこをする。	2	20%
4	8 34.4%	お絵書き	好きな絵を描く。 (かたつむり・女の子・先生の顔・家族の顔など)	8	100%
			お面を作る。	1	12.5%
			日捲りの裏にクレヨンで好きなように描く。	1	12.5%
			できたものを保育者に見せたり友達と比べっこする。	2	25%
5	3 13%	ゲーム	保育者や友達と一緒に椅子取りゲーム。ピアノにあわせて椅子の周りを行進し、曲が終わったら椅子に座る。	3	100%

6	7 30.4%	積み木・ 大型積み 木	線路・電車を作る	2	28.6%
			お城・家を作る．	3	42.9%
			作ったものを使用してルールを決めて遊ぶ． （吊り橋を作ってじゃんけんする）	1	14.3%
			友達の積み木とゴチャゴチャにして大きな ものを作る．（男の子）	1	14.3%
			自分の部屋や大切な誰かの部屋を作る． （女の子）	1	14.3%
			ロケットタワーなど上に登え立つものを作る．	1	14.3%
7	10 43.4%	絵本	保育者に読んでもらう．	9	90%
			自分で絵を見て楽しむ．	4	40%
			どれが良いか選択させる．食べ物が出てく るとイメージを広げて食べるまねをする．	1	10%
8	15 65.2%	製作・廃 材遊び	ティッシュ箱，ヨーグルトのカップを利用 はさみで切ったり，組み立てたりカメラな どを作る．	3	20%
			タッパーやプリンを利用 かたつむりを作る．	1	6.7%
			新聞紙を利用 a) 丸める．望遠鏡などを作る． b) 丸めてテープを使用する．輪ゴムをつけ てヨーヨーなどを作る． c) 折って，のりを使って袋等を作る． e) 折って，剣等を作る． f) 破ってパズル等をつくる	13	86.7%
			トイレットペーパーを利用．望遠鏡を作る	3	20%
			広告を利用．紙ひこうき等をつくる．	1	6.7%
			ペットボトルのキャップを利用．指ではじ いて遊ぶ．	1	6.7%
			保育者が色画洋紙で，作り方を説明し，子 供は作る．もぐら作成，あらかじめ，保育 者が切っておいた鼻，手，足をつける．目 は，白画洋紙をまるく切ったものに，色を 子供がつけ保育者が貼る．	1	6%
			保育者が，いもの形を切った画洋紙に，子 供が折り紙をちぎってのりで貼る．	1	6.7%
			チャイルドブック・シールを貼る・クレパ スで色を塗る．鏡シートで遊ぶ．	1	6.7%
			9	3 13%	ハンカチ 遊び

10	2 0.8%	動物・昆虫	ザリガニやかかへの観察をする。	1	50%
			たまたま団子虫をみつけほかのところにいないかを見つける。	1	50%
			一人のものにしたくて、誰の虫かでけんかになる	1	50%
11	11 47.8%	折り紙	自分で好きなように折る。きつね・つる・イルカ等	1	9.1%
			本をみて折る。(風船等)	1	9.1%
			なにも見ないで折る。(かざぐるま・やっこさん・花等)	1	27.3%
			保育者と折る。(せみ・ねこ等)	7	63.6%
			友達と折る(財布・ピアノ)	5	45.5%
			はさみやのりを使って、切ったり貼ったりする。クレヨンで絵を描いて動物にする	3	27.3%
12	4 17.3%	ピアノ オルガン 歌 リトミック	先生のまねをして弾く。	1	25%
			絵本を楽譜に見立ててオルガンを弾く。(トトロ・ミッキーマウスの歌を歌う。	1	25%
			アニメの歌、童謡、テープレコーダーや保育者のピアノに合わせて元気よく大きな声で歌う。	1	25%
			ピアノの音にあわせて電車になって歩いたり、トンネルをくぐったり止まるなどの動作をする。	2	25%
13	3 13%	塗り絵	クレヨンで塗る。キティ・ドラエモンなど	3	100%
			色鉛筆を使う。	1	33.3%
14	1 0.4%	フラフープ	遊戯室で腰を回したり、くぐったりする。	1	100%
15	3 13%	手遊び	給食準備中や帰りの時間など、保育者に合わせて手遊びをする。	3	100%
16	2 0.8%	ふろしき	腰にまいてスカートにする。	1	50%
			首につけてマントにする。	1	50%
17	2 0.8%	リズム遊び	いろいろ動物になってとんだり、跳ねたりする。	2	100%
18	1 0.4%	年長児との交流	お金(紙でつくったもの)を持って、年長さんが作った。指輪・花を買いに行く。	1	100%
19	1 0.4%	ビデオ	こんな子イルカナ。アンパンマン	1	100%
			団子三兄弟のビデオを見て踊る	1	100%
20	2 0.8%	紙芝居	アンパンマンともぐりん	1	50%
			アンパンマンとゴリラマン	1	50%
21	3 13%	小麦粘土	「いらっしゃい」と声を出し、お店の人になったり、友達が客となっていたりして「ごっこ」遊びをする。	1	33.3%
			ケーキ・ドーナッツ・団子などを作る。	2	66.6%

22	1 0.4%	ボール	カラーバスケット	1	100%
23	1 0.4%	お面	ゴージャスなお面をかぶって遊ぶ。	1	100%
24	1 0.4%	パズル	大型パズルを組み立てるのではなく、しゅりけんで見立ててなげる。	1	100%
25	2 0.8%	追いかっこ	クラスの中から廊下、ホールへと走り出す	2	100%
26	2 0.8%	水遊び	部屋の前にある水道で水遊びする。	2	100%

(2) 4歳児について

1) 保育形態

4歳児を対象にした学生は、19名(18.8%)であった。自由保育は4園、設定保育は15園であった。しかし、自由保育と設定保育の活動内容に大差がなかった。

2) 保育活動内容

室外での活動(表3参照)

表3は、4歳児の室外での活動をまとめたものである。

室外の活動として多いのは、上位から1

位が「砂場」17園(89.5%)、2位が「ブランコ」15園(78.9%)、3位が「滑り台」「動物・虫」14園(73.7%)、4位が「植物採集」12園(63.2%)、5位が「鉄棒」「伝承遊び」11園(57.9%)、6位が「ごっこ遊び」「登り棒」7園(36.8%)、7位が「三輪車」「ボール遊び」6園(31.6%)、8位が「吊り輪」「飛び箱」4園(21.1%)、9位が「雲梯」(15.8%)、10位が「かけっこ」「二輪車」「はしごブランコ」「水あそび」2園(10.5%)であった。「なわとび」「フラフープ」「平均台」「タイヤ」「どろんこ遊び」は、各1園(0.5%)であった。

表3 4歳児の室外での活動

活動項目番号	施設数 19施設中	項目	活動内容	人数 (人)	構成比
1	2 10.5%	かけっこ ・リレー	グラウンドを友達と駆け回る。	1	50%
			友達同士で「ヨーイ、ドン。」といい、ルールを決めて走る。	1	50%
			保育者も一緒に走る。	1	50%
2	17 89.5%	砂場	スコップを使う。 団子・たこ焼き・山・トンネル・穴・滝・迷路	2	11.8%
			皿やコップなどの遊び道具を作る。	11	64.7%
			山などを作って、トンネルを作って水を流し、船を浮かばせるなどひとつの遊びから創造して行く遊びをする。	12	70.6%

3	1 5.3%	一輪車	ひとりで乗る.	1	100%
			保育者の手を借りて乗る.	1	100%
4	2 10.5%	二輪車	立ち乗りをする.	1	50%
			一人乗りをする.	1	50%
5	6 31.6%	三輪車	乗って競争する.	5	83.3%
			2人のりをする.	5	83.3%
6	1 5.3%	なわとび	まえとび・うしろとび	1	100%
7	1 5.3%	フラフープ	腰を回す.	1	100%
			縄跳びのようにする.	1	100%
8	3 15.8%	雲梯	雲梯の上を歩く.	1	33.3%
			1本とばして歩く.	3	100%
9	2 10.5%	はしごブ ランコ	はしごに座り, ブランコのようにゆれてみる.	各1	各50%
			はしごだけゆらして波が追いかけてくるか のようによけたりして遊ぶ.		
10	15 78.9%	ブランコ	数を数えて交代する.	12	80%
			座ってゆっくりこぎ, 空中の自分の世界を 楽しんでいる.	2	13.3%
			立ってビュンビュンこぎ, 軽快さを楽しん でいる.	3	20%
11	7 36.5%	登り棒	保育者に援助してもらう.	1	14.3%
			自分でできる子は登っていく.	6	85.7%
			保育者が上まで登って降りてくるまで数を 数える.	3	42.9%
			二本使って登っていく.	1	14.3%
12	4 21.2%	吊り輪	輪を持ちブランコのようにゆれてみたりす る.	2	50%
			二つの輪に足をいれてブランコのように座 る.	2	50%
13	11 57.9%	鉄棒	前回り	11	100%
			保育者に手伝ってもらって後ろ回り	3	27.3%
			鉄棒の上に座る.	1	9.1%
14	6 31.6%	ジャング ルジム	ジャングルジムを家に見立ててその中でま まごとが始まる.	1	16.7%
			登ったり, 降りたりする.	6	100%
15	4 21.1%	跳び箱	できない子はなるべく自分でできるように おしりを保育者に支えてもらい, まるで自 分でできたかのようにして遊ぶ.	3	75%
			自分の高さにあわせて飛ぶ.	3	75%

16	6 31.6%	ボール遊び	ボールをけるのみ	4	66.6%
			ボールを投げる	3	50%
			バスケットゴールにボールを入れる.	2	33.4%
			滑り台の上にボールをもって滑り台から転がしてみる.	1	16.7%
17	1 5.3%	宝物探し	宝物を隠してそれを探す.	1	100%
18	1 5.3%	消防車	不用になった消防車があり, それに乗って遊ぶ.	1	100%
19	2 10.5%	平均台	座る.	各1	各50%
			上を歩く.		
20	1	タイヤ	上に乗って遊ぶ	1	100%
21	14 73.7%	滑り台	座って滑る.	13	92.9%
			滑り台のはしを掴んでよじ登っていく.	2	14.3%
			滑るところから降りる.	3	21.4%
			途中で止まって下にいる保育者とじゃんけんをする. 二人や三人で列で滑る.	2	14.3%
22	14 73.7%	動物・虫	うさぎ・にわとり・あひるにえさをあげる.	6	42.8%
			カマキリを牛乳パックに入れ採集する.	1	7.1%
			カマキリの死骸にたかっているありを真剣に見る.	1	7.1%
			ありをおもちゃ箱にいれて友達と数を数えあう.	1	7.1%
			触る. かめむし・かめ・ざりがに・だんご虫・カブトムシの幼虫	4	28.6%
			毛虫退治をする.	1	7.1%
23	12 63.2%	植物	どんぐりを拾う.	2	16.7%
			誰が一番多く拾えるか競争する.	3	25%
			栗の花や草花を袋にいれ採集する.	2	16.7%
			ねこじゃらしでマジックショーをする.	1	8.3%
			花に水をやる.	1	8.3%
			大根・ブロッコリーの種をまく.	1	8.3%
			朝顔・オシロイバナの種を取る.	1	8.3%
			四葉のクローバーを探す.	1	8.3%
24	7 36.8%	ごっこ遊び	身近なものを使って遊ぶ.(フライパンを使って料理をする.)	4	5.7%
			ぬいぐるみを使って家族ごっこをする.	2	2.8%
			レスキューごっこ	1	1.5%
			探検ごっこ	1	1.5%

25	11 57.8%	伝承遊び	大縄跳び	1	9.1%
			だるまさんが転んだ (ルールが理解できないところがある.)	3	27.3%
			はないちもんめ	2	18.2%
			かくれんぼ	4	36.2%
			おにごっこ	4	36.2%
			高鬼	2	18.2%
			氷鬼	3	27.3%
			あわぶくたった	2	18.2%
			竹馬	2	18.2%
			リアカー：リアカーを引いて友達や先生を乗せる.	1	9.1%
26	2 10.3%	水遊び	袋の中に水を入れ砂にかける.	2	100%
27	1 5.2%	泥んこ遊び	泥を固めてできたものを, チョコレートと いって箱に入れて遊ぶ.	1	100%
			泥の上に砂をかけてご飯を作って遊ぶ.	1	100%

室内での活動(表4)

表4は、4歳児の室内での活動をまとめたものである。

室内の活動として多いのは、上位から1位が「粘土」19園(100%)、2位が「ごっこ遊び」18園(94.7%)、3位が「ブロック」16園(84.2%)、4位が「製作・廃材利用」14園(73.7%)、5位が「お絵書き」13園(68.0%)、6位が「折り紙」「絵本」12園(63.3%)、7位

が「伝承遊び」11園(57.9%)、8位が「歌・ピアノ・ピアノ」8園(42.1%)、9位が「積み木」7園(36.8%)、10位が「塗り絵」5園(26.3%)、11位が「ハンカチ遊び」4園(21.0%)、12位が「手遊び」(15.7%)3園、13位が「あやとり」2園(10%)であった。「パズル」「字の練習」「でんぐりかえし」は、1園(5.3%)であった。

表4 4歳児の室内での活動

活動項目番号	施設数 19施設中	項目	活動内容	人数 (人)	構成比
1	12 63%	折り紙	自分で折る. 自分で考えたもの. ネコ・船	6	50%
			本を見て折る. パクンチョ	3	25%
			保育者と一緒に折る. 飛行機・紙鉄砲カエル・風船・鶴	7	58.3%
			新聞紙を正方形に切ってもらい, 保育者に折ってもらう. カエル・カメラ	1	8.3%
			見て折ろうとするが折れずに保育者に折ってもらう.	1	8.3%
			作ったもので遊ぶ.	1	8.3%

2	13 68%	お絵書き	絵を書く。 ピカチュウ・先生・自分・友達の顔・車	13	100%
			保育者と一緒に絵本を作る。	1	7.7%
			ひらがなを書く。	3	23.1%
			ちょうの羽を書いて切り取り、羽をつけて 飛び回る。	3	23.1%
3	19 100%	粘土	みみず・ドーナツ・ケーキ・バラ・ゴー ゴーファイヤー・動物など	16	84.2%
			他の遊びと併用	2	10.5%
			作ったもので ごっこをする。 ヘラを使いをたくさん作る。	2	10.5%
			切ったりちぎったりする。	6	31.0%
4	2 10.5%	あやとり	保育者に教えてもらう。	1	50%
			保育者と一緒にあやとりをする。	2	100%
			本を見て形を作る。	1	50%
			友達と一緒に遊ぶ。	1	50%
5	18 94.7%	ごっこ遊び (ままごと含む)	アニメー ピカチュウごっこ・メガレンジャーごっ こ・ウルトラマンゴッコ・ガイアごっこ・ ドールリカごっこ	12	66.7%
			イスなどを家のしきりにする。	1	5.6%
			人形・ぬいぐるみを使い家族ごっこをす る。(抱っこ・おんぶ・寝かす。)	17	94.4%
			料理を作る。	2	11.1%
			お店屋さんごっこ	4	22.3%
			ヒーローごっこ	1	5.6%
6	3 15.8%	ゲーム	ハンカチ落とし	1	33.3%
			ホール内を走りまわる。	1	33.3%
			迷路など	1	33.3%
			イス取りゲーム	1	33.3%
7	2 10.5%	その他	飾ってある写真を良く見る。	1	50%
			友達と手をつなぎ会って園を歩く。	1	50%
			職員室に入り、園長先生と話す。	1	50%
8	14 73.7%	製作廃材 利用	飛行機・指輪・プレスレット・変身棒等を 作る。	8	21.4%
			紙と毛糸を使いボシエットを作る。	1	7.1%
			ゼリーの入れ物を使ってあめを作ったり新 幹線を作る。	2	14.3%
			牛乳パックでジョロを作る。カメラ・船・ 鉄砲・車など	3	21.4%

			ペットボトルのふたをころがして遊ぶ。	1	7.1%
			広告を丸めて剣を作る。	1	7.1%
9	12 63.2%	絵本	自分で絵本を読む。	9	75%
			先生がいつもやっているように友達に読み聞かせる(字が読めないからアドリブで)	1	8.3%
			本を見ている話す。	2	16.7%
			先生に読んでもらう。	4	33.3%
10	16 84.2%	ブロック遊び	銃・剣・飛行機・家などをつくる。	16	100%
			皆で協力して線路を作る。	1	33.3%
11	7 36.8%	積み木	友達同士で大きな積み木をいくつも並べて遊ぶ。	7	100%
12	11 57.9%	伝承遊び	かくれんぼ	3	27.3%
			お手玉：投げて遊ぶ。	2	18.2%
			コマ：両手で回す。両手でできるようになると片手で回す。	2	18.2%
			かごめかごめ	3	27.3%
			あわぶくたった	2	18.2%
			だるまさんが転んだ	2	18.2%
13	3 15.8%	ビデオ	自分でイスを持って見にくる子もいる。アンパンマン/おやくそく：なにかをしながらテレビを見ないこと	2	66.7%
			延長保育の中で行う。	1	33.3%
14	1 5.3%	でんぐり返し	保育者と一緒にする。	1	100%
15	1 5.3%	トランポリン	保育者と一緒にする。	1	100%
16	5 26.3%	塗り絵	クレヨンで色を塗る。	5	100%
17	8 42.1%	歌・ピアノ・ピアノカ	友達と一緒に好きな歌を歌う。	4	50%
			いろいろな音を出して遊ぶ。	3	37.5%
			友達と一緒にピアノカを吹く。カエルの歌	2	25%
18	4 21.0%	ハンカチ遊び	ボールを作る。	2	50%
			チューリップを作る。	2	50%
19	3 15.8%	手遊び	保育者と一緒に手遊びをする。次郎くん。太郎くん。	3	100%
20	1 5.3%	字の練習	自分で鉛筆を持って書く。	1	100%
			保育者が手を持ちながら一緒に書く。	1	100%
21	1 5.3%	パズル	本を見てその通りあてはめる。	1	100%
			自分で考えて、保育者に聞いて教えてもらう。	1	100%
22	1 5.3%	動物・虫	室内にいるうさぎにえさをあげる。	1	100%

4. 3歳児4歳児の発達に関わる学生の保育活動

次に、3歳児・4歳児の発達に関わる学生の保育活動を「保育所保育指針」の視点から検証した。

本来なら、「幼稚園教育要領」を参考に検討すべきところであるが、年齢別による基準が示されていない為、「保育所保育指針」の3歳児・4歳児の「発達の主な特徴」と「ねらい」をもとに検証をした。

(1) 3歳児について

1) 発達の主な特徴から (表5)

表5は、保育所保育指針による3歳児の主な特徴と実習対象の3歳児の年齢的特徴を比較したものである。

「他の子供との関係の中で少しずつ

表5 3歳児の主な特徴と実習対象児との比較

3歳児の主な特徴	実習対象の3歳児
「他の子供との関係の中で少しずつ分け合ったり、順番を守って遊んだりできるようになる。」	「じゃんけん」という手段を用いて順序を決めお互いに平等性をつくりだして、そういう行為の中で指針で謳われているような人の関わりは、円滑に行われていた。
この時期に仲間と一緒に居ることの喜びを知り、より豊かな人間理解へとつながっていく大切な基礎固めを形成する時期である。	さまざまな行動が単独ではなされず、少なくとも2人以上の単位で活動がなされていた。したがって、群として行動することから、保育指針を満たしていることが伺える。
また、大人の日常経験していることを取り入れて「ごっこ遊び」の中で再現し、これまでの「ごっこ遊び」より組織的になって遊びの内容も創造力を発揮した発展性が見られる時期となる。	「ごっこ遊びの内容」は、運動会・お祭りごっこ、発展性のあるような兆候については、認められていないが、単なる「ごっこ」に留まらずより、工夫された遊び方になっていた。

分け合ったり、順番を守って遊んだりできるようになる。」¹⁾に対して、実習対象の3歳児は、さまざまな場面で「じゃんけん」という手段を用いて「順序」を決め、お互いに平等性をつくりだそうという行為の中で、保育所保育指針で謳われているような人の関わりは、円滑に行われていた。

「この時期に仲間と一緒に居ることの喜びを知り、より豊かな人間理解へとつながっていく大切な基礎固めを形成する時期である。」²⁾に対して、実習対象の3歳児は、さまざまな行動が単独ではなされず、少なくとも2人以上の単位で活動がなされていた。

したがって、群として行動していることから保育所保育指針を満たしていることが伺える。

「これまでの『ごっこ遊び』より組織的になって遊びの内容も創造力を発揮した発展性が見られる時期となる。」³⁾に対して、

1) 厚生省児童家庭局・『保育所保育指針』・社会福祉法人日本保育協会・平成10年 p35

2) 同上

3) 同上

実習対象の3歳児は、「ごっこ遊びの内容」は、運動会・お祭りなどで、発展性のあるような兆候については認められていないが、単なる「ごっこ」に留まらず、より工夫された遊び方になっていた。

2) ねらいから (表6)

表6は、保育所保育指針の3歳児のねらいの中から本研究に該当するものを検証したものである。

「外遊びなど十分にするなど、遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。」⁴⁾では、砂場78.2%、ブランコ60.8%、滑り台、69.5%、ジャングルジム52%などのように遊びの中で体を動かす楽しさを会得し、学生が子どもと積極的にかかわっている様子が伺える。

「身近な人と関わり、友達と遊ぶことを楽しむ。」⁵⁾では、集団遊びの多い「伝承遊び」は、57.9%と半数以上の園で行われている。それにかかわる学生たちは、その子どもたちの状況を間接的につくりあげ遊びにかかわっている。

「身近な動植物や自然事象に親しみ、自然にふれ十分に遊ぶことを楽しむ。」⁶⁾では、「動物・虫」との関わりが73.7%、「植物採集」が63.2%と、ほぼ3分の2以上の園が自然との関わる機会を多くもっている。

又、このような中で学生も子ども達と一緒に、自然の中で充実した実習がなされている様子が伺える。

「身近な社会事象に親しみ、模倣したりして遊ぶことを楽しむ。」⁷⁾では、模倣

からまずはじまる「ごっこ遊び」が36.8%であった。この数値は、3歳という年齢から考えると低いが、よく見ると「ジャングルジム」「砂場」「ブロック」などに「ごっこ遊び」が取り入れられている。たとえば、「ジャングルジム」を登るための遊具として使うのではなく「家」と見立て「ごっこ遊び」をしている。

このように、単純な「ごっこ遊び」を發展させ想像力豊かに成長していく子どもの姿があり、遊具本来の目的や機能にとらわれない保育者としての目をもつ機会を与えられている。

「絵本・視覚教材・童話などを見たり聞いたりして、簡単な内容を楽しむ。」⁸⁾では、「絵本43.3%」が良く利用されている。ビデオ・テープなどは0.4%とかなり低く、「絵本」を使用している園のほうが、圧倒的に多い。また、まだ3歳児には、むしろ「絵本」などの教材を使って保育されたほうが、園児達の興味を引いていた。このことは、むしろ3歳児の「発育」を考慮した保育活動を充実させる意味では、体温の感じられる結果が得られると推測される。

(2) 4歳児について

1) 発達の主な特徴から (表7)

表7は、保育所保育指針による4歳児の主な特徴と実習対象の4歳児の年齢的特徴を比較検討したものである。

「4歳になると、全身のバランスをとる能力が発達し、体の部分がかかなり自分の

4) 同上 p34

5) 同上

6) 同上

7) 厚生省児童家庭局・『保育所保育指針』・社会福祉法人日本保育協会・平成10年 p34

8) 同上

表6 3歳児の保育内容のねらいと実習対象児との比較

ねらい	実習対象の状況	調査内容の該当項目
外遊びなど十分に するなど、遊びの中で 体を動かす楽しさを味 わう。	砂場78.2%、ブランコ60.8%、滑り台、69.5%、ジャングルジム52%のように遊びの中で体を動かす楽しさを会得され、学生が子どもと積極的にかかわっている様子が伺える。	表1-活動項目1.3.4.12 (以後番号のみで表示する)
身近な人と関わり、 友達と遊ぶことを 楽しむ。	集団遊びの多い「伝承遊び」は57.9%と半数以上で行われ、身近な人と関わり、友達と遊ぶことを楽しんでいる。それにかかわる学生たちは、その子どもたちの状況を間接的につくりあげ、遊びにかかわっている。集団の中でも子どもたちの様子を学生は、観察している。	表1;1- , 2- , 3- , - 10- , 14- (などは、活動内容番号である)
身近な動植物や自然 事象に親しみ、自然 にふれ十分に遊ぶこ とを楽しむ。	「動物・虫73.7%」との関わりや、「植物採集63.2%」など、ほぼ3分の2以上の園が自然との関わりをもっている。又学生も自然の中で充実した実習がなされている様子が伺える	表1:8.9
身近な社会事象に 親しみ、模倣したりし て遊ぶことを楽しむ。	まず模倣からはじまる「ごっこ遊び」は、36.8%であり3歳の年齢から考えると、数値が低かった。しかし、その内容は組織的になって創造力を発揮した発展性のある内容となっている。	表1:16
絵本・視覚教材・童 話などを見たり聞いたりして、 簡単な内容を楽し む。	「絵本」は、43.3%であり良く利用されている。ビデオ・テープなどよりも、「絵本」を使用している園のほうが、断然多かった。まだ、3歳児には、むしろ絵本などの教材を使って保育されたほうが、園児達の興味を引いていた。このことは、保育内容を充実させる意味では、体温の感じられる結果が得られると推測される。	表2:7.19.

表7 4歳児の主な特徴と実習対象児との比較

4歳児の主な特徴	実習対象の4歳児
<p>「4歳になると、全身のバランスをとる能力が発達し、体の部分がかかなり自分の意のままに使えるようになり、体の動きが巧みになる。」</p>	<p>3歳児に活用が少なかった「鉄棒」「登棒」、又全く活用されなかった「平均台」や「一輪車」が、多く活用されていた。これは、4歳児は3歳児と比較してバランス調整力が発達してきた為と思われる。</p>
<p>「この時期の子どもは、人にだけでなく周りのものにも、鋭い関心を向け、探索を続けるなど活動的であるので、その過程で他の子どもの興味ある遊びを見たり、自分自身の体験によって土や水を始めとした自然物や遊具などの自分を取り巻く様々なものの特性を知り、それらとの関わり方、遊び方を豊かに体験していく。」</p>	<p>視覚・触覚・聴覚を十分に使い、自然と触れ合っている。たとえば、「カマキリの死骸にありが、たかっているのをじっと観察する様子」などである。このように子どもの鋭い関心に学生も心を合わせて一緒に観察し共感して関わっていた。</p>
<p>3歳児に比較して全身の能力が発達し、自我とともに、他の子どもとの比較をしたりし、自分という存在を子どもなりに理解していく時期で、人の話を聞いたり、自分の経験したことを話しかけて言葉で伝える楽しさを味わう時期である。</p>	<p>集団遊びとともに「ルール」を取り入れたり、「植物採集」や「かけこ」などで「順番」・「競争」が取り入れられ、自分の位置と「順位」を意識するようになり、比較をしている様子が伺える。</p>

意のままに使えるようになり、体の動きが巧みになる。⁹⁾に対して、4歳児になり使用割合が高くなった遊具は、「鉄棒」と「登り棒」であった。「鉄棒」は、4歳児が3歳児より27.5%高く「登り棒」は、4歳児が3歳児より9.6%使用割合が高くなっている。さらに、4歳児になってはじめて使用された遊具は、「平均台10.5%」「一輪車5.3%」であった。

このように、バランス調整を必要とする特徴のある遊具の使用割合の伸びは、4歳児の身体各部の発育が順調であることが伺え指針を満たすものと考えられる。

このことから、身体各部の発育と遊具の特徴には密接な関係があることが伺える。

「この時期の子どもは、人にだけで

なく周りのものにも、鋭い関心を向け、探索を続けるなど活動的であるので、その過程で他の子どもの興味ある遊びを見たり、自分自身の体験によって土や水を始めとした自然物や遊具などの自分を取り巻く様々なものの特性を知り、それらとの関わり方、遊び方を豊に体験していく時期。¹⁰⁾に対して、「動物・昆虫との触れあい」が45%「植物採集」が37%の園が取り入れて、自然と触れ合う機会をつくっている。たとえば、「カマキリの死骸に蟻が、たかっているのをじっと観察する様子」などからも、その中で、子ども達は、視覚・触覚・聴覚を十分に使い、自然と触れ合っている。

「3歳児に比較して全身の能力が発達し、自我とともに、他の子どもとの比較を

9) 同上 p40

10) 厚生省児童家庭局・『保育所保育指針』・社会福祉法人日本保育協会・平成10年 p34

したりし、自分という存在を子どもなりに理解していく時期で、人の話を聞いたり、自分の経験したことを話しかけて言葉で伝える楽しさを味わう時期である。」¹¹⁾これに対して、実習対象の4歳児は、集団遊びとともに「ルール」を取り入れたり、「植物採集」や「かけっこ」で「順番」「競争」意識が高められ、自分と他の子どもを意識する様子が伺える。

2) ねらいから (表8)

表8は、本研究に該当するねらいと学生の保育者としてのかかわり方を比較検討したものである。

「身近な遊具や道具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。」¹²⁾については、「砂場」78.2%、「ブランコ」60.8%「滑り台」69.5%「ジャングルジム」52%が利用されている。

このように、どの園でも人気が高い遊具は、道具を使ったり十分に体を動かして遊ぶことのできる遊具であり、子どもが体を動かす楽しさを会得している様子が伺われる。4歳児は、独立的な意識が芽生えてきている反面、危険度が増しているので、学生は怪我や事故のないような位置や方法の確保に努めていた。

「友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。」¹³⁾については、集団で活動することの多い「伝承遊び」は、52.8%であった。この中で「ルール」などが取り交わされ独自のつながりが形成されて

いた。又、学生は子どもの自主性を重んじながら、出来るだけ見守る形で参加していた。

「異年齢の子どもに関心を持ち、かわりを広める。」¹⁴⁾については、直接的な「年長児との交流」については、記述されていないが、特に室外の遊びを通じて異年齢の行動を観察したりするなどして、影響を受けているものと思われる。

「身近な動植物や自然現象に親しみ、それらに愛情や関心を持つ。」¹⁵⁾については、「動物」が73.7%、「植物採集」が63.2%と、3分の2以上の園が自然に親しんでいる。その中で、自然に好奇心を抱く子どもの様子などが伺える。

このことから、子どもと一緒に学生が、自然の中に見る子どもに関心を持ち、あたたかなまなざしと愛情をむけている様子が伺える。

「身近な環境に興味を持ち、自分から関わり、身の回りの事物や数、量、形などに関心を持つ。」¹⁶⁾については、数を数えて「順番」を待つこと、だれが一番「多いか少ないか」、「速いか遅いか」などを競いあうこと、数を使用して「ルール」を作るなどが、主に「ブランコ」「植物採取」「登り棒」でみられた。このように、子どもの遊びに大きく「数」が関わっていることが具体的に伺える。身近な環境の中で「数」や「量」や「形」に関して子どもが、遊びを通して楽しく学んでいく機会を得ていた。

「絵本、童話、視聴覚教材などを見た

11) 同上

12) 同上

13) 同上

14) 同上

15) 同上

16) 厚生省児童家庭局・『保育所保育指針』・社会福祉法人日本保育協会・平成10年 p41

表8 4歳児の保育内容のねらいと実習対象児との比較

ねらい	実習対象の状況	調査内容の該当項目 表3・4参照
身近な遊具や道具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。	「砂場」78.2%、「ブランコ」60.8%「滑り台」69.5%「ジャングルジム」52%が利用されている。このように、子どもが体を動かす楽しさを会得されている様子が伺われる。4歳児は、独立的な意識が芽生えてきている反面、危険度が増しているため、怪我や事故のないような位置や方法の確保についた。	表3-2 表3-10・表3-11 表3-13・表3-21 表3-19・表3-20
友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。	「伝承遊び」52.8%で、ルールなどの集団遊びでの約束事が取り交わされるような独自のつながりが形成されていた。又、その学生は、子どもの自主性を重んじながら、出来るだけ見守る形で参加していた。	表3-25
異年齢の子どもに関心を持ち、かかわりを広める。	直接的な「年長児との交流」については、記述されていないが、遊びを通じての交流は、特に室外活動によって影響を受けているものと思われる。	
身近な動植物や自然現象に親しみ、それらに愛情や関心を持つ。	「動物73.7%」「植物採集63.2%」で、積極的に自然に親しんでおり、その中で、好奇心を抱く子どもとの様子などの記述が多いことから、子どもを見る学生自身が、自然現象に親しむことの楽しさや、子どもへの愛情や関心をもった充実した実習がなされていると思われる。	表3-22 表3-23
身近な環境に興味を持ち、自分からかかわり、身の回りの事物や数、量、形などに関心を持つ。	「ブランコ」において、「数」を数えて順番を待つこと。「植物採取」では、だれが一番か、「登り棒」どれだけ早く降りてくるか、など「数」の使用によるルールや競争が、子どもの遊びに大きく関わっていることが具体的に伺える。	表3-10- 表3-11- 表3-22- 表3-23- 表3-25-
絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ、言葉が豊かになる。	「絵本63.2%」が多く使用されて、「絵本」が身近な教材であることが、伺える。	表3-9 表3-13

身近な事物などに関心を持ち、それらの面白さ、不思議さ、美しさなどに気付き、感性豊かにする。	「水遊び」「色水遊び」は、少数ではあるが、色の变化や水の美しさに目をとめている子どもの様子が伺える。学生は、子どものかかわりの中で、子どもの身長大になり子どもの視点にたつて、子どもが何に興味があるのか、観察する姿勢で園児とかかわっている。	表3-14-
感じたこと、思ったこと、想像したことなどさまざまな方法で表現する。	全園で、「お絵かき」「ブロック」「積み木」「リズム」など表現を表すさまざまな遊びが、室外・室内で十分に取り入れられている。	表3-17 表3-27 表3-28 表4-2・3 表4-5 表4-8～11

り聞いたりして、イメージを広げ、言葉が豊かになる。¹⁷⁾については、「絵本」が63.2%、「ビデオ」15.3%であり、3歳同様に「絵本」が多く使用されていた。「ビデオ」は、3歳児と比較して0.5%多くなり、徐々に増えてきている。年齢にあわせた教材を、どのようなときに、どういう形で用いて子どもと関わっていくかを学ぶ機会を得ている。

「身近な事物などに関心を持ち、それらの面白さ、不思議さ、美しさなどに気付き、感性豊かにする。」¹⁸⁾については、身近な「水」を使って「水遊び」は、10.3%と少数ではあるが、水の冷たい触感や色の变化の面白さや美しさに目をとめている子どもの様子が伺える。

このように、身近な「水」への興味などに、子どもの視点にたつて、子どもが何に興味があるのか、観察する姿勢で園児と関わっていた。

「感じたこと、思ったこと、想像したことなどさまざまな方法で表現する。」¹⁹⁾に

ついては、「表現方法のさまざまな方法」とは、主に「粘土100%」「ブロック84.2%」「製作73.7%」「お絵書き68%」「歌・リズム42.3%」「積み木36.2%」等、があげられる。このような表現能力を養うさまざまな方法の中で、子どもは自分の内なる世界を「表現」して、一番身近な保育者などにメッセージを送っていることが伺える。

保育者は、健全な子どもの表現能力を養わせるために、さまざまな表現方法とともに、子どもに「表現したい」と思わせるような子どもとの関わりや環境作りが大切であることを学ぶよい機会を得ている。

7. 結 論

調査内容のうち、3歳児・4歳児の発達の特徴(表5・表7)から3歳児・4歳児の特徴が引き出され、健全な発育に応じた保育実習がなされていることが伺えた。3歳児、4歳児の保育内容のねらい(表6・表

17) 同上

18) 同上

19) 同上

8)から、学生が充実した教育環境のもとで保育活動を具体的に学ぶ機会を得ていることが大まかではあるが分かった。

また、この調査から、遊具の特徴と身体各部の発育とに客観的な関係があることが伺われた。

したがって、今後の小児保健においては、「子どもの健全な成長・発達」を促すために、本来の遊具の目的や機能の特徴に加えて、子どもの身体各部の発育との関係を考え、それらの遊具を臨機応変に応用する能力を持つ保育者を養う必要がある。